

令和４年度シラバス（国語）					学番56 新潟県立八海高等学校
教科（科目）	国語（古典A）	単位数・3単位	学年（コース）	2 学年（普通科）	
使用教科書	第一学習社『高等学校標準古典A物語選』				
副教材	第一学習社「標準古典文法」				

1. 学習目標
古典作品に親しみ、古文・漢文を正しく読むとともに、解釈できるようになる。

2. 指導の重点
<div>・整った音読ができる。</div> <div>・古語辞典を正しく引き、読むことができる。</div> <div>・古文を正確に解釈するため語法を理解する。</div> <div>・長文の漢文に慣れる。</div> <div>・思想や歴史に興味関心を持ち、「世界史」や「倫理」と関連付けることができる。</div>

3. 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4・5月（一期中）	1年の復習	・古典文法のプリント	・用言について復習	・動詞、形容詞、形容動詞の活用の復習 ・助動詞の働き、活用、接続等の理解	1	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	説話「十訓抄」	「小式部内侍が大江山の歌の事」	・音読 本文書写 ・古語辞典を引く	・音読、本文書写、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・古語辞典を引き意味や現代語との違いを理解する。 ・重要単語習得、係り結び等を理解する。	4	
	物語「竹取物語」	「かぐや姫の昇天」 「帝の求婚」	・音読 本文書写 ・古語辞典を引く	・音読、本文書写、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・古語辞典を引き意味や現代語との違いを理解する。 ・重要単語習得、係り結び等を理解する。	7	
	漢文〈故事・寓話〉	「助長」「画竜点睛」	・音読 本文書写 ・知識理解	・漢文音読に慣れる。本文書写。 ・内容理解、思想の背景理解。	4	
6・7月（二期末）	物語「伊勢物語」	「初冠」 「小野の雪」	・知識理解 ・音読 本文書写 ・古語辞典を引く ・知識理解、作品解釈	・音読、本文書写、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・古語辞典を引き意味や現代語との違いを理解する。 ・重要単語習得、係り結び等を理解する。 ・和歌の働き（贈答歌）について理解する。	6	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	随筆「徒然草」 「枕草子」	「公世の二位」 「中納言参り給ひて」	・知識理解 ・音読 本文書写 ・古語辞典を引く	・音読、本文書写、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・古語辞典を引き意味や現代語との違いを理解する。 ・重要単語習得、係り結び等を理解する。	7	
	漢詩〈近体の詩〉	「鹿柴」「絶句」 「春夜」	・音読 本文書写 ・知識理解	・音読、本文書写。 ・訓点や再読文字、語法の知識理解 ・作品の背景や歴史を理解する。	4	
7・9・10（二期中）	物語「大鏡」	「雲林院の菩提講」 「道長の豪胆」	・知識理解 ・音読 本文書写 ・古語辞典を引く ・知識理解、作品解釈	・作品の構成、人物等全体像を理解する。 ・音読、本文書写、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・重要単語、語法、敬語法の習得理解。、 ・文章を正確に読みとり人物や作者の考え方を理解する。	11	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	漢文〈史伝〉	「赤壁之戦」 「鴻門之会」	・音読 本文書写 ・知識理解	・長文の漢文音読に慣れる。本文書写。 ・内容理解、背景理解。	7	
11・12（二期末）	物語「大鏡」	「弓争ひ」 「道長と伊周」	・音読 本文書写 ・知識理解 ・作品解釈 ・音読 本文書写	・作品の構成、語り手の意図等全体像を理解する。 ・音読、本文書写。 ・重要語、語法、敬語法の習得理解。 ・文章を正確に読みとり人物や作者の考え方を理解する。	10	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	漢文〈史伝〉	「鴻門之会」	・音読 本文書写 ・知識理解、作品解釈	・漢文音読に慣れる。本文書写。 ・内容理解、思想の背景理解。	8	
1・2・3月（三期）	物語「源氏物語」	「光る君誕生」 「若紫」	・音読 本文書写 ・人物像理解、語り手の意図把握	・音読、本文書写。重要語の理解。 ・歴史背景、語り手の意図理解。	11	授業の取り組み 定期テスト 提出物
	日記「更級日記」	「門出」	・音読 本文書写 ・知識理解、作品解釈	・音読、本文書写。 ・重要語、語法、敬語法の習得理解。	10	
	漢文〈思想〉	「仁人心也」「柔弱」 「胡蝶之夢」「法者王之本也」	・音読 本文書写 ・本文理解	・漢文音読に慣れる。本文書写。 ・内容理解、思想の背景理解。	6	

4. 課題・提出物	計 96 （55分授業）
<div>・単元終了時などに復習プリントを課します。</div> <div>・長期休業中の課題は別途指示します。</div> <div>・定期考査ごとにノートを提出させ点検します。</div>	

5. 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。				
（関心・意欲・態度）	（思考・判断・表現）（技能）			（知識・理解）
関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
・積極的に学習に参加している。・予習をしている。・ノートを工夫してとっている。	・話しを集中して聞くことができる。・感想やコメント、現代語訳を適切に話すことができる。	・古文、漢文を正しく書写できる。・耳で聞いた語を文字化できる。	・教科書の本文をきちんと朗読できる。・現代語訳を正しく読むことができる。	・古文重要語や基礎的な語法を理解、習得する。・古人の考え方や歴史背景を理解し、現代の日常生活に生かして考えることができる。
以上の観点をふまえ、定期考査や課題の結果、授業態度や意欲・関心、予習状況 などから総合的に評価します。				